

令和7年度2月補正予算債務負担行為の概要

事業名	担当課
道路災害復旧工事費	道路課

[単位: 千円]

区分	限度額	期間	財源内訳				
			国	県	起債	その他	一般財源
補正前	413,000	令和7年度～令和8年度	275,471		131,600		5,929
補正後	545,000	令和7年度～令和8年度	360,180		169,600		15,220

【事業の目的】

道路災害復旧工事において、令和3年7月の大雨により被災した地すべり、令和4年1月の降雪及び融雪により被災した地すべり、令和6年11月の豪雨により被災した道路を公共土木施設災害復旧事業により復旧する。

地すべりについては、本省（国土交通省）の防災課の地すべり事象としての承認、査定という流れとなり、工事の前段階である保安林解除や相続登記申請し工事着手となる。この予定を考えると令和7年度内に復旧することが困難であるため、債務負担を設定し、早期復旧を図る。

・金沢瀬田蔵線

保安林解除に不測の日数を要することが判明したため、債務負担行為で工事を実施することで早期の復旧を目指す。

・早牛勝部線

対策施設の一部が隣接する神社用地に掛かることが判明したため、その手続きに日数を要し工事内容も多岐にわたるため、債務負担行為で工事を実施することで早期の復旧を目指す。

・鳴滝大坪線（追加分）

工事施工中、想定外の湧水により切土法面が崩落し、復旧範囲が広がったため、債務負担行為で工事を実施することで早期の復旧を目指す。

【事業の内容】

被災した市道について、公共土木施設災害復旧事業により復旧する。

【これまでの関連する取組】

- ・金沢瀬田蔵線（災害復旧工事：道路土木、排水工、ブロック積みほか）令和7年3月～令和8年3月
- ・早牛勝部線（修正設計業務：詳細、解析等調査業務）令和7年6月～令和7年11月
- ・鳴滝大坪線（追加分）（災害復旧工事）令和7年6月着工、（切土法面崩落）令和7年9月工事中止、（水位観測井戸設置工）令和7年11月

【今後の取組】

- ・金沢瀬田蔵線（法面保護、抑え杭、盛土、舗装工事）令和8年3月～令和9年3月
- ・早牛勝部線（国土交通省防災課協議）令和8年2月上旬、（災害査定）令和8年3月上旬
- ・早牛勝部線（横ボーリング工、抑止杭工及び法枠工）令和8年4月～令和9年3月
- ・鳴滝大坪線（追加分）（補強土壁工、地下排水工、地盤改良工、舗装工ほか）令和8年3月～令和9年3月